

# ProMED-mail 情報 2015年 5月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>) に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
31日	麻疹 シエラレオネ	コノ郡に流行。2015年5月28日WHOは主に子供たちが直面している脅威に対して、緊急の応援派遣と現地医療者の訓練を行うと発表。21例を検査したうち5例に陽性反応。症例の98%は一歳未満の子供。
29日	流行性耳下腺炎 カナダ	2010年以来初めてとなる流行性耳下腺炎の流行をオンタリオ州ゲルフの2つの高校で調査。4例の疑い症例。1例目は旅行で持ち込まれたのではないかと推測。
27日	クリミア・コンゴ出血熱 パキスタン	シンド州の牧場主に2015年で最初の牧場主の死者が出たと発表。37歳男性、高熱と呼吸のひっ迫、二日前からの出血で入院し死亡。肉屋や家畜を扱う者に感染リスクが高く、予防に有効なワクチンはない。
26日	サルマラリア マレーシア	2015年までに罹患したマラリア患者3923例中2584例(66%)が人畜共通感染性サルマラリア感染で、多くはサバ州、サラワク州、クランタン州で発生。730例(19%)は海外から農園への出稼ぎ労働者。今年3月までには527例中356例(67.6%)が同様にサルマラリア。
24日	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 韓国	2015年5月22日致死的なウイルス感染による今年最初の死者。73歳女性は南忠清道の地方都市在住で2015年5月12日に大田広域市の病院を受診。3日後にはウイルスによるSFTSを発症したと韓国疾病管理予防センターが発表。
20日	鳥インフルエンザ ベトナム	高病原性鳥インフルエンザH5N1感染が発生。村の鶏300羽のうち200羽は死に、残りの100羽は感染の拡大を防ぐため屠殺。村は南ベトナムのヴィンロン省にある。
19日	狂犬病 ベトナム	タイゲン省で野良犬に咬まれた後の狂犬病患者が増加していると報告。2015年に入って3歳の男児を含む4人が死亡。2015年1月から3月の間で3145人が咬まれた。WHO発表では世界で毎年55000の死者。ベトナムでは番犬や食用に10000000頭の犬が飼われている。
17日	HIV 米国	2014年12月から2015年5月7日までに、流行の中心であるインディアナ州南東で154例。経静脈性ドラッグの回し打ちによるものが多い。C型肝炎と併発している場合も多い。
11日	口蹄疫 台湾	金門縣の牧場で2頭の牛から手足口病の抗体が検出。2015年5月1日にも1頭に陽性、5月8日のPCRでも陽性。その血清型はAで、2013年に中国広東省で分離された血清型と99%一致。
8日	B型肝炎 ベトナム	2015年5月6日ベトナム保健省は、西太平洋地域の9か国のうちでベトナムがB型肝炎の脅威に晒されていると発表。感染者は総人口の10~20%。ウイルス性肝炎は肝臓癌や肝硬変の最大の原因。未治療では25%近くが肝臓癌を発症。予防にはワクチン接種が最も効果的。
7日	黄熱 ブラジル	2015年5月5日州保健省は、パラナ州アラポンガス在住の31歳がデング出血熱で死亡したと発表。州中央研究所(LACEN)の検査では死因は黄熱であった。
3日	ハンターウイルス呼吸器 症候群(HPS) 米国	ユタ州グランド郡でハンターウイルス呼吸器症候群(HPS)の症例を報告。地方衛生局は地域住人に、げっ歯類の糞尿や唾液を介してのみ感染するこの疾患にかからないよう注意勧告。
1日	水痘 フランス	2015年4月、水痘が流行。連続3週間増加し、平均で10万人あたり44人と健康事象監視ネットワークが報告。子供の症状は深刻なものではないが、成人や妊婦には水痘肺炎や胎児奇形、流産などを起こす。思春期や成人で未罹患の場合はワクチン接種を推奨。